



幼保小連携研修会 松代小学校授業公開（5月12日）写真の説明は6ページ

巻頭言 『継続は力なり』

学校教育課 課長補佐 柳 尚之

今年度から学校教育課に異動してまいりました、柳尚之と申します。教育委員会部局は新採用からの3年間に情報館で勤務して以来二十数年ぶりとなり、小中学校に関わる仕事は初めてとなります。ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、よろしくお願いいたします。

さて、最近NHKの新・プロジェクトXで「大谷翔平二刀流誕生」が放送され、その出演者の中に十日町市出身の方がいました。大淵隆さんです。大淵さんは日本ハムのスカウトであり、当時大リーグ志望だった大谷選手を日本ハムに入団させることに一役買った方です。大淵さんは十日町高校、早稲田大学で野球部に所属し、六大学野球でベストナインを獲得した名選手でしたが、卒業後は大手IT企業に就職しました。ですが、野球に関わる仕事がしたいということで、退社し、新潟県内で高校教員を経て、日本ハムファイターズのスカウトに転身し、現在は日本を代表する名スカウトとして活躍されています。番組の中ではIT企業に勤務していたことが大谷選手を説得する資料作成に役立ち、高校教員を経験したことが、当時の大谷選手に寄り添えたと言っていました。

大谷選手は誰もが認める世界一のベースボールプレイヤーになりましたが、類い稀な体の強さや才能、努力を有し、誰もがなれる存在ではありません。しかしながら、当市

出身の大淵さんのように何か好きなことをやり続ければ成功を掴むことができるかもしれません。

小中学生の皆さんもスポーツ、勉強、文化活動など何でもいいと思いますが、何か好きなこと・やりたいことを見つけ、それを継続し続けてもらいたいと思います。そのことが将来の職業につながったり、将来何かの役に立ったりすることがあるかもしれません。

小中一貫教育

■ 第 1 回計画訪問を終えて

4月21日（火）から5月28日（木）までの間、各中学校区を訪問し、令和8年度を取組について先生方の話合いの様子を見せてもらったり、お話を聞かせてもらったりしました。市教委からは、今後の小中一貫教育の在り方等について説明しました。

今年度より市の第三次総合計画が策定され、学校教育の重点が改訂されました。これによって小中一貫教育基本計画も改訂しました。A4で20ページ以上の量になるため、紙でお配りしていませんが、ロイロノートの資料箱（十日町市 先生のみ「小中一貫教育・居心地のよい学級づくり」¥「研修資料2026」）やShare Point（01_学校間共通¥03_小中一貫教育¥001_十日町市小中一貫教育基本計画・実施計画）に保存してありますので、時間のある時にご覧いただければ幸いです。

計画訪問の際には、主に令和8年度小中一貫教育実施計画を基に説明を行いました。その中心は、共通取組事項「居心地のよい学級づくりによる安定度・活性度を高める集団作り」と中学校区ごとの取組「9年間を通じて育てる子どもの姿を明確にしたグランドデザインの改善・見直し」です。

特に令和8年度の重点となる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と中学校区の課題に応じた取組の改善・重点化についてお願いしました。昨年8月に文部科学省初等中等教育局の田村学主任視学官から学んだことを生かし、授業改善が図られている学校現場の姿をいくつも拝見し、大変心強く感じました。また、中学校区の令和8年度を取組を進めるに当たり、何を重点として取り組むかや何をどう統合したり止めたりするかを話し合う様子も拝見することができました。教員は、多くの場合子どものためにやれることはやりたいという思うものですから、働き方改革も進める中で重点化を図るのは難しいことでもありますが、熟議の上で進めてほしいと思います。

「居心地のよい学級づくり」を着実に進め、学校を楽しんでいる児童生徒の割合の増加（不登校の減少につながる）や学力の向上（安定度や活性度を高め授業改善を進める）を図ることについても共通取組事項を進める上で大切にしてほしいと思います。学校現場の子どもに寄り添った熱心な取組のおかげで、令和7年度の不登校率は、令和6年度より減少しました。今後とも地道な取組の継続が望まれます。

すでに中学校区のグランドデザインの改善に取り組んでいる中学校区もありますが、じっくりと話し合い、1年をかけて見直しをしていただくようお願いいたします。

教育相談班より

市学校教育の重点 共通課題「不登校の減少・いじめの認知」に向けて～学校の組織力・対応力の向上を図ります～

全国的に不登校児童生徒が増加している中、十日町市ではR 5年度から減少に転じ、R 7年度はさらに減少となりました。減少の要因として、①「居心地のよい学級づくり」の推進と定着 ②各校における SSR の設置・運営 の2点が考えられます。一方、「学校には登校できるが、教室には入れない」児童生徒が増加しています。今後も、教育相談センターによる学校訪問や、相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等に



市教育相談センター
(「にこやかルーム」併設)

よる支援の充実を継続するとともに、**新たな不登校を生まない学校づくりを推進し、各校における組織的な不登校への対応力の向上や教員の指導力の向上**を図ります。

いじめの認知件数は、R 7年度はわずかに減少しましたが、中学校の認知率は高いままです。これは各校における「初期発見→初期対応」のシステムが機能していることを表しています。小学校低学年等の早い段階からどんないじめも見逃すことなく、「いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成」が重要です。生徒指導上の課題が年々複雑化・多様化の傾向にある現在、**いじめ事案への学校の対応力や教員の指導力の向上**を図ります。

【今年度の研修予定】

- ◆生徒指導研修会（いじめ対応）「いじめや非行事故等の初期対応について」
【6月18日(木) PM 管理職対象】
- ◆生徒指導研修会（不登校対応）「SSW（スクールソーシャルワーカー）について理解を深める」
【7月2日(木) PM 教育相談・校内 SSR 担当者等 対象】

市学校教育の重点 共通課題「特別支援教育の充実」に向けて～全ての教師の専門性の向上を図ります～

特別支援教育（特別支援学校、特別支援学級、通級による指導）を受ける児童生徒が年々増加傾向にあります。「障害のある児童生徒を含め、多様な児童生徒が通常の学級に在籍している」ことを前提として、全ての児童生徒に対し、高い学習効果が得られるよう分かりやすい授業づくりを進め、通常の学級において安全・安心に学ぶことができるよう、多様性を尊重した学級経営が求められます。そのためには、特別支援学校や特別支援学級担任だけでなく、**全ての教師の特別支援教育に関する理解と知識の向上**が必須です。十日町市では、特別支援教育にかかわる研修会（校内外問わず）に年間1回以上参加した教員100%を目指し、研修の充実を図っていきます。

今年度も、市学校勤務のすべての教職員向けの「基礎講座」、特別支援学級担任向けの「学級運営講座」、特別支援教育コーディネーター向けの「養成講座」「授業公開講座」を開設します。

※「研修講座パンフレット(チラシ)」が配付されています。詳細を知りたい方は、自校の特別支援教育コーディネーターにご確認ください。

学習指導班より

指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書を活用してください。

デジタルを使った学習、紙を使った学習、両者のメリットを理解することで、場面や子どもの適正に合わせた学習を行うことができます。指導者用デジタル教科書（小学校R6～、中学校R7～）は全教科使用可能です。学習者用デジタル教科書（小学校3年～中学校3年の英語、算数・数学は市内の5割程度の小中学校）も活用してください。

指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書の使用方法について、教科書会社によってプラットフォームが異なるため、次の作業が必要となります。

教科書会社	使用方法
東京書籍、三省堂 『Lentrance』 プラットフォーム	① https://www.lentrance.com/school/login のページを開き、 <u>Googleでログインを選択</u> 。
学校図書、日本文教出版 開隆堂、教育出版 『みらいスクールデジタル教科書』 プラットフォーム	① https://mirai-pf.jp/user/login.html のページを開く。 <u>Googleでログインを選択する</u> 。
光村図書、教育芸術社 光文書院 『まなビューア』 プラットフォーム	① https://manaviewer.jp/ のページを開く。 <u>Googleでログインを選択する</u> 。
帝国書院 『超教科書クラウド』 プラットフォーム	① https://p01.cloud.cho-textbook.jp のページを開く。 <u>Googleでログインを選択する</u> 。

まなびポケット内に各プラットフォームのログイン用ページがあります。こちらからもログイン可能です。デジタル教科書の活用とともに、ドリルパーク、テストパーク、ロイロノートなどのICTを有効に活用してください。

研修のアーカイブ動画について

実施した教育センター主催の研修について、以下でアーカイブ動画を公開しています。研修に参加できなかった方、興味のある方はぜひご覧ください。研修実施後、録画できた研修は随時アップします。研修の振り返りにも活用できます。

運用ポータルサイト 十日町市 sharepoint → 十日町市内共有 → 【ICT】マニュアル → 【研修動画】

学校教育課・教育センター事業のお知らせ ～6・7月～

日 時	内 容 ・ 会 場	備 考 (対象等)
5月25日(月) ～	第1回WEBQU開始(～6月5日)	
5月28日(木)	サポート訪問研修開講式 川西庁舎	対象 サポート訪問研修申込者
6月2日(火)	情報教育担当者会議① Zoom	対象 情報教育担当者
6月10日(水)	特別支援教育コーディネーター養成講座⑤ 越後妻有文化ホール(段十ろう)	対象 令和8年度に⑤～⑧を未受講の特別支援教育コーディネーターは悉皆(指名)
6月11日(木)	新採用・若手事務職員研修(郡市) 十日町博物館	対象 採用後3年目までの事務職員
6月11日(木)	外国語科公開授業研修(6年生) 下条学校	対象 外国語授業担当者又は外国語教育担当者から1名、中学校英語授業担当者は2学期の十日町小学校公開のどちらかに参加
6月18日(木)	生徒指導研修会(いじめ対応) 川西庁舎	対象 管理職(各校1名)
7月2日(木)	図書館担当者会議 Zoom	対象 図書館教育担当者
7月2日(木)	生徒指導研修会(不登校対応) 川西庁舎	対象 管理職及び教育相談担当又はSSR担当各1名ずつ
7月22日(水)	第2回幼保小連携研修 松代小学校	対象 幼保小連携研修関係者全員
7月27日(月)	教育支援員研修 千手中央コミュニティセンター	対象 市立学校勤務の教育支援員及び学校看護師
7月30日(木)	特別支援教育運営講座 川西庁舎	対象 特別支援学級担任 講師 中越教育事務所指導主事
7月31日(金)	図書委員会サミット 十日町情報館(午後日程)	実践発表等

【表紙写真の説明】

5月12日（火）に松代小学校を会場に令和8年度第1回幼保小連携研修会を行いました。

初めに1年生の算数「いくつといくつ」の公開授業がありました。5時間構成の単元の第1時で、本時では、5ぴったりになるようにペアで買い物をして、5の構成をブロックで表して数と関連を図ることをねらっています。

8人の子ども達は、2人ずつのペアになって、「ふたりで5こぴたりになるように買い物をする」課題をクリアしようと相談して、順番に買い物をします。買い物ごっこを取り入れるのは、遊びの要素を取り入れ、楽しみながら数に関わるようにしたいという授業者のねらいの表れです。入学してから一月あまりの子ども達ですが、楽しみながら合わせて5になる数の組み合わせを考えることができました。

特に右手の指を2本、左手の指を3本立てて左右の手を交差しながら、交換法則が成り立つことを主張しようとしている子どもの姿（考えを言語化するのが難しい）が印象的でした。ブロックで5になる組み合わせを考える中で、0と5を組み合わせる考えも出てきました。

本時の振り返りをロイロノートとする活動は、時間がなくできませんでしたでしたが、これまでの授業で子どもたちがロイロノートで自身の振り返りを動画で撮影する様子が協議会の中で紹介されました。文字で表現できなくても音声言語で表現できること、考えを表現するヒントとして「言葉カード」を活用していることなど、この時期の子どもの思考を活性化する工夫だと感じました。

協議会では、5グループに分かれて活発な意見交換が行われました。教室の環境構成を整えるときに松代保育園から助言を受けて効果を上げたことやスタートカリキュラムを「ゆったりタイム」「なかよしタイム」「にこにこタイム」「ぐんぐんタイム」として、子どもに活動のねらいと内容を意識づける取組などが話し合われていました。

松代中学校区は、何年も前から小中一貫教育のグランドデザインに保育園との連携を位置付けており、計画訪問（部会も含めて）の際にも保育園の先生が参加しています。

8月21日（金）には、千手コミュニティセンターを会場に幼保小連携研修を行い、この日の授業などの動画も視聴できます。ぜひたくさんの方の皆さんの参加をお待ちしています。